

無題  
林弘訓

大阪市立大学文学部地理学教室創設50周年おめでとうございます。

私が、入学したのは、1961年4月で、同時に大阪市役所に就職し、働きながら学びました。当時の記憶をたどれば、渡辺先生、村松先生、藪内先生、春日先生、岩田先生らに教わったと思います。4回生までは、まじめに通学しましたが、途中、労働組合の活動が忙しくなって学校へ行かなくなりました。67年12月にぼつぼつ卒業しようと思いついて渡辺先生の指導をお願いしまして、なんとか68年3月に卒業することができました。そのため同封していただきました卒業者名簿で知っているのは、同じ大阪市役所に勤務する保藤正義君だけで、彼に電話しましたところ、卒業して以来、つきあいはなく同窓生の消息は知らないということでした。

在学中で一番、印象に残っているのは、演習で鳥取市内に「ベースキャンプ」を置いて地域調査をしたことで地理学の勉強をしたなという実感が残っています。

現在、社団法人大阪自治体問題研究所の理事をしていたこともあって93年1月に自主的研究会である「大阪市研究会」をつくり、事務局を担当しています。研究会は、研究所の理事でもある商学部の遠藤宏一教授に指導をお願いしていますが、①都市経済と都市構造、②都市生活の実態把握、③都市構造と財政、④都市計画、⑤都市行政をテーマに毎月1回の例会を開いており、この9月で60回になります。そういうこともあって、ここ数年、卒論・修論発表会に参加させてもらっていますが、毎回、大阪市に関係する研究発表があつて頼もしく感じています。希望としては、もっと大阪市問題や大都市問題をテーマにした研究を増やしていただけたらと思います。地理学教室の一層のご発展をお祈りいたします。

(昭和43年卒業)